

パブコメ集計結果

(文部科学省 産学官民連携による地域イノベーションクラスター創成事業)

1. 総数: 17件

2. 賛否について:

○賛成:	15件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	1件
○反対:	1件
計	17件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・地域の知の拠点である大学を中核として、地域の特色を活かした産学官共同研究を推進するとともに、研究成果の中堅・中小企業や社会への展開等を図ることにより、科学技術を活用した地域活性化の実現が必要である。従来型の公共事業依存型ではなく、地域の多様性・独創性を活用した科学技術駆動型の地域活性化を図ることで、我が国全体の科学技術の高度化・多様化を図る必要がある。
- ・産学官それぞれの得意とする部分があるので、これをうまく組み合わせればより大きな研究推進力となる。また拠点となる地域の活性化につながると思われる。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・産学官連携事業は知財立国を目指す我が国にとってなくてはならないコーディネータ人材育成である。産学官連携がうまくいっているのかといえば No である。それは官と学が主導しており、ありきたりのばら撒きに陥っている。民間の自前のコーディネータを養成する必要がある。そのためには抜本的な施策見直しが必要である。地域の人材育成に切り替えるべきであろう。

③反対

- ・地域を中心として考えているが、地域という狭い市場でニーズがどれくらいあるか疑問。ニーズがないのに、地域空港を建設するのに似ている。実際にその地域で検討されている事案と同じもの、もしくはそれより規模の大きいものが、近隣地域にあるのならば、その施設等を利用・発展させる方がよい。科学技術分野は、地域主導・地域還元ではなく、国家戦略として国が主導し、国の利益・国民の利益になるようにしてほしい。